

# 馬主だより

第96号

平成30年12月21日  
発行 (一社)ばんえい競馬  
馬主協会事務局

## ☆平成から新しい時代へ どんな時代でも“必要な力”は同じ 出来る事から！！

▼師走の慌ただしい時期から心も気忙しい年の瀬へ、皆様にはいかがお過ごしでしょうか？平成最後の大晦日まで残り数日となりましたが、やり残しや悔いの残らないよう一年を締めくくりましょう。▼今年の漢字は「災」。豪雨、地震、台風など自然災害の驚異を痛感した一年でした。「災い転じて福と為す」ということわざがありますように、来年はきっと「福」が舞い込む年になりますよう祈っています。嫌なこと、困難なことがあっても、最後まで諦めずそれは少し先の未来の幸福の種だと信じて、前に向かって進んでいこうと思います。▼さて、来年は皇太子さまが新しい天皇に即位されます。これに合わせて「平成」から新しい元号に変わりますが、新しい時代にふさわしい平和で明るい未来、安らかな未来をイメージできる新元号を期待しております。▼30年間に亘る「平成」という時代は皆様にとってどんな時代でしたか？「停滞」や「閉塞」という言葉で語られ、どちらかと言えば暗いイメージの不安定で激動の時代であって、一つの時代の特徴を表すものは、やはり「東日本大震災」をはじめ自然災害がその時代を象徴する出来事でありました。▼自然災害はくい止めることは出来ませんが、災害被害を減らす事は可能です。自分の身を自分で守る、家族で力を合わせる。身近にいる人同士が助け合う、自らが出来る事から一歩踏み出す勇気を！！それこそ時代がどのように移り変わったとしても“必要な力”なのではないでしょうか。

### 平成30年度 ばんえい競馬 発売成績 (累計)

開催106日間

帯広市ばんえい振興室資料提供  
平成30年12月17日終了時

区分	発 売 金 額							
	平成30年度			平成29年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
帯広競馬場	106	883,323,800	835,333,900	106	902,576,100	105.74%	97.87%	
直営場外	旭川北彩都	106	419,579,400	366,273,700	106	424,665,200	114.55%	98.80%
	ミトスポット北見	106	366,426,000	278,503,200	106	308,590,700	131.57%	118.74%
	ハロンス岩見沢	106	132,996,500	150,206,900	106	167,828,900	88.54%	79.25%
	ハロンス釧路	106	63,621,400	59,886,400	106	66,614,700	106.24%	95.51%
	ハロンス名寄	106	74,673,900	63,350,000	106	70,822,200	117.88%	105.44%
	アプスポット網走	106	65,606,400	42,301,900	106	46,665,000	155.09%	140.59%
	琴似駅前	106	91,606,200	85,727,400	106	95,624,500	106.86%	95.80%
	イルムふかがわ	106	59,425,600	55,640,300	106	61,685,300	106.80%	96.34%
電話投票	オッズパーク	106	4,052,093,800	3,242,617,000	106	3,705,784,900	124.96%	109.35%
	OP(七重勝)	106	10,845,300	68,900,000	106	20,278,800	72.96%	53.48%
	OP(五重勝)	106	39,422,000		106	55,234,100		71.37%
	競馬モール	106	3,878,125,000	3,405,572,300	106	3,674,825,500	113.88%	105.53%
	SPAT4	106	4,800,352,700	3,934,960,100	106	3,881,358,200	121.99%	123.68%
広域場間場外	—	963,863,500	882,149,600	—	901,995,600	109.26%	106.86%	
場外・電投計	—	15,018,637,700	12,636,088,800	—	13,481,973,600	118.86%	111.40%	
合計	106	15,901,961,500	13,471,422,700	106	14,384,549,700	118.04%	110.55%	
1日平均		150,018,505	127,088,893		135,703,299	118.04%	110.55%	

平成30年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで106日間)

平成29年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第18回6日目まで106日間)

## 会議等の様子

### ○ 平成 30 年度第 4 回執行役員会開催！！

平成 30 年 10 月 15 日(日)当協会事務局会議室に於いて、平成 30 年度第 4 回執行役員会を開催しました。

役員会では、今回、競走馬弔慰金の給付対象馬 3 頭について審議。その結果、全て原案のとおり承認されました。続いて北海道輓用馬振興対策協議会に於いて地方競馬全国協会に対して「畜産振興事業」に係る陳情活動を行いましたので、その内容について報告しました。

また、今後の精液検査に於ける役割分担と課題について、(一社)ジェネティクス北海道と協議相談した内容について報告しました。

#### 【第 4 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 地全協「畜産振興補助事業」に係る陳情活動の報告
- (3) 今後の精液検査における役割分担と課題
- (4) その他
  - ① 千葉県馬主会視察対応について

#### 【馬弔慰金支給対象馬】 3頭 1,650,000円

内 訳

(単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ホマレウンカイ	4	佐藤 孝之	業務中	550,000
サカノメジロ	2	(株)大阪畜産	業務中	550,000
ノボリリュウセイ	6	宝田 浩二	業務中	550,000

### ○ 平成 30 年 4 月～9 月期監事監査を実施！！

#### ～ 理事の職務執行状況、協会の財務、会計の状況等を監査 ～

平成 30 年 10 月 20 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 30 年 4 月～9 月期迄の上半期 6 ヶ月間に於ける理事の職務の執行状況、また協会の業務並びに財産及び会計の状況について、関係諸帳簿、証拠書類等に基づいて、熊谷、堂場両監事により監査を執り行いました。

当日は、業務執行者を代表して大阪代表理事会長並びに長津副会長、事務局職員立会のもと、調査・閲覧・報告等により監査を受けました。

#### 【監査資料】

資料 1 平成 30 年度実施事業報告・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況

資料 2 平成 30 年 4 月～9 月期決算報告書(財務諸表等)

- ・貸借対照表・正味財産増減計算書・予算対比正味財産増減計算書・収支計算書
- ・予算推移付収支予算管理月報・財産目録・貸借対照表内訳表・正味財産増減計算書内訳表・収支計算書内訳表・特定資産の増減及びその残高・固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

資料3 預金残高証明書

(北海道銀行帯広支店、帯広信用金庫本店、北洋銀行帯広中央支店)

資料4 参考資料

・各事業に関連する費用額の配賦計算書(給料手当、給料手当以外の経費)・平成30年度流通促進事業純益総括表・平成30年度機構図・平成30年度ばんえい競馬発売成績

## ○ 平成30年度第5回執行役員会開催！！

平成30年11月9日(金)当協会事務局会議室に於いて、平成30年度第5回執行役員会を開催しました。

競走馬弔慰金の査定について審議、原案のとおり承認されました。

役員選任規程の改正は、第3回理事会で協議した内容を踏襲して、各ブロック選出理事の人数について、ブロック別の正会員の推移等を参考に、定数の検討を致しました。また、個人情報の取扱いについては、法律相談の結果、弁護士の見解について報告。働き方改革に伴う就業規程等の見直しを今後検討する事を確認。

その他、診療負担金徴収事務に関する診療所からの要請等について、報告しました。

### 【第5回執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 役員選任規程の改正(案)検討
- (3) 個人情報の取扱いについて
- (4) 働き方改革に伴う就業規程等の見直し検討について
- (5) 次回、理事会の日程調整について
- (6) その他
  - ① 診療負担金徴収事務に関する診療所からの要請について
  - ② 診療収入等の実績と推計

【馬弔慰金支給対象馬】 2頭 2,350,000円

内訳

(単位:円)

馬名	年齢	馬主	給付別	馬弔慰金
コウシュハノホシ	4	広瀬 豪	業務中	750,000
コウシュハサマー	4	広瀬 豪	業務中	1,600,000

## ○ 平成30年度第6回執行役員会開催！！

平成30年12月1日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成30年度第6回執行役員会を開催しました。

診療負担金を巡る一連の経過と今後の対応について協議。会議終了後、この件について、急遽、調教師会と話し合いをすることになりました。

また、仲介案としての新たな支援策(案)についても協議しました。

なお、懸案であった理事の定数について、後進の育成や理事機能の強化等も踏まえ、今後、更に協議を重ねることになりました。なお、次回、理事会招集時期等の確認をしました。

その他、理事会等の議事運営のあり方について協議、議事をスムーズに進行する

為、一定のルールに則って公正で円滑な意思決定が行えるよう、参加者全員が同じ認識を以って努力することを再確認しました。

**【第6回執行役員会議事】**

- (1) 診療負担金を巡る一連の経過と今後の対応について
- (2) ブロック選出理事の定数について
- (3) 理事会招集について
- (4) その他
  - ① 理事会等の議事運営
  - ② ばんえい十勝調教師会への要請

**○ 平成30年度第7回執行役員会及び第4回理事会開催！！**

平成30年12月14日(金)当協会事務局会議室に於いて、平成30年度第7回執行役員会を開催しました。

執行役員会は、競走馬弔慰金の査定について審議、原案のとおり承認されました。また、第4回理事会に先立ち議事の進め方等について審議。その他では、ばんえい競馬振興連絡協議会に於いて開催を計画している、首都圏ばんえいPRイベント企画(素案)について説明しました。

第4回理事会では、競走馬弔慰金給付額決定と正会員の入会申込みについて報告。協議案では、診療負担金を巡る一連の経過報告と今後の対応について協議しました。

**【第7回執行役員会議事】**

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 獣医師の意向確認
- (3) 平成30年度第4回理事会議案について
- (4) その他
  - ① 首都圏ばんえいPRイベント企画(素案)について
  - ② 次回理事会の日程

**【馬弔慰金支給対象馬】** 1頭 750,000円

内 訳

(単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
オメガグレート	9	高田 文男	業務中	750,000

**【第4回理事会議事】**

- 日程1 報告第1号 競走馬弔慰金給付額の決定について  
報告第2号 正会員の入会申込みについて  
日程2 協議案第1号 診療負担金を巡る一連の経過報告と今後の対応について  
日程3 そ の 他 ① 2019新春初夢抽選会中止

**【正会員新規入会者】**

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
30-7	(有)宮村牧場 宮村 明	法16-1263	道南ブロック
30-8	川口 晃 司	北18-08	道南ブロック

30-9	河田剛男	北18-14	道央ブロック
30-10	野村久	北18-23	道南ブロック
30-11	舟林淳一	北18-21	道北ブロック

## 情報・ご案内

### ○ “全道祭典ばんば1才馬決勝大会開催！！”

#### ～ 他馬を寄せ付けず圧勝 雌馬「ヒラリ(足寄)」V 全道一に輝く ～

平成30年10月13日(土)帯広競馬場で「全道祭典ばんば1才馬決勝大会」(主催：北海道輓用馬振興対策協議会)が行われました。

毎年秋の恒例となっておりますが、今年も、道内各地で開催された市町村の草ばんば競技大会で優秀な成績を収めた1才馬を選抜して、本番さながらのレースで決勝大会が開催されました。今年度は、雄雌混合の8頭でレースを行いました。

見事全道一に輝いたのは、十勝選抜の「ヒラリ」雌(生産者、所有者：奥泉 愛子様、十勝管内足寄町)が他馬を寄せ付けず圧勝。タイムは1分18秒0。

なお、今回のレースに出走した馬は、来年春にはデビューすることになります。将来のスターホースとして今後の活躍に期待いたします！！

#### 【平成30年度全道祭典ばんば1才馬決勝大会成績表(雄雌混合)】

負担重量 雄350キ。雌330キ。

着順	枠番	馬名	性	選抜地区	所有者	生産者	騎手	馬体重	タイム
1	1	ヒラリ	雌	十勝	奥泉 愛子	奥泉 愛子	加藤 信一	800	1:18:0
2	4	シンエイアザミ	雌	北見	上口 詩子	芝桜高橋牧場	岡村 紀男	700	1:34:2
3	5	ミスヌカナイ	雌	十勝	村田 律夫	森 裕治	葛西 嘉正	800	2:04:6
4	8	サカタサンキチ	雄	十勝	(株)キューサンファーム	(株)キューサンファーム	宮野 勲	800	2:07:0
5	10	ランギク	雄	胆振	菊地 範	中村 光雄	金田 駿人	680	2:08:4
6	6	カゲオー	雄	根室	下内美繪子	岩渕 寿和	下内 秀勝	650	2:33:1
中止	2	メメ	雌	根室	渡辺 善弘	渡辺 善弘	杉岡 正美	600	—
中止	9	キョウエイ	雄	根室	下内美繪子	加藤 勇	綱村 裕幸	700	—

### ○ 平成30年度ばんえい馬登録検査日程決まる！！

#### ～ 調教師ごと検査日、時間を指定 事前にご確認を ～

平成30年度のばんえい馬登録検査については、下記のとおり地方競馬全国協会登録課より日程が公表されましたので、お知らせいたします。

来年4月予定の第1回能力検査を受検するためには、当該定期馬登録検査(下記日程)を受けておく必要があります。(なお、馬登録申請は、2月末日までに必ず申請願います。)

また、その後については、第1回能力検査後に1回と5月から8月迄には、各能

力検査日の午前中(隔週)に登録検査を行なう予定です。詳しくは、後日、新年度の開催日程等の発表に合わせて、実施方針で示されますので、ご確認ください。

なお、来年3月の定期馬登録検査日は、混雑を避けるため、あらかじめ調教師毎に検査日(検査時間)が指定されますので、お間違のないようご注意ください。登録検査に関する詳細につきましては、預託予定の調教師へ事前にご確認ください。

**【定期馬登録検査日程及び場所】**

検査日時	検査場所
平成31年3月13日(水) 9:00 ~ 平成31年3月14日(木) 9:00 ~	帯広競馬場 装鞍所
平成31年3月19日(火) 9:00 ~ 平成31年3月20日(水) 9:00 ~	

**■【登録検査時の注意事項】**

- ① 検査時に特徴の違う馬が発見された場合に備え、その馬の入手経路がわかるようにしておいてください。
- ② 検査時は、必ず馬に轡(くつわ)を装着してください。
- ③ 検査時は、特徴が判別できるよう馬体の汚れを落としてください。
- ④ 検査当日、現地(競馬場)での申請受付は一切いたしません。
- ⑤ 検査当日、競馬場に入りゅうし登録検査を受検する場合には、必ず馬伝染性貧血検査及び三種混合ワクチン(所定の間隔で2回実施)の証明書を携行してください。当該証明書のないものは、競馬場への入りゅうは勿論、登録検査は受けられません。ご注意願います。

**○ ばんえい十勝 発走時刻 11月24日(土)より変更！！  
～ 準ナイタースタート 最終レース 19時40分に～**

11月24日(土)から12月29日(土)までの間は、準ナイター開催となり、最終レースの発走時刻は、基本19時40分頃となっております。

準ナイター開催について				
【11月24日(土)～12月29日(土) 準ナイター開催 基本時刻】				
	帯広競馬場 開門時間	ばんえい 発売開始	第1レース	最終レース
11レース編成日	13:00	13:45	14:15頃	19:40頃
12レース編成日	13:00	13:15	13:55頃	19:40頃

※月曜日と12月29日(土)は12レース編成予定です。  
 ※年末年始は、変則開催となります。開門・発走時刻等は、確定次第ばんえい十勝ホームページに掲載されますので、ご確認ください。

○ **ばんえい競馬レース編成の変更！！“古馬の出走機会確保のため”**  
**～ 月曜日を中心に年度末まで12レース編成へ ～**

今年度、競走馬の出走実頭数が 2 歳馬を中心に過去の年度より大幅に増え、帯広市としては、「馬の確保に明るい兆しが見え喜ばしいところである。」との認識を示しております。

これに伴って古馬の 2 走使いのレースが今までに比べて編成出来ない状況となり、古馬の出走機会が減っていることから、出走機会の確保を図るため、第 17 回開催から月曜日を中心に年度末まで 12 レース編成をすることを決定しました。

つきましては、ご理解とご協力をお願い致します。なお、12 レース編成の実施日は、次のとおりです。

12 レース編成 実施日			
【12 レース編成 対象予定日】			
11 月・12 月	1 月	2 月	3 月
11 月 26 日(月)	1 月 1 日(祝火)	2 月 4 日(月)	3 月 4 日(月)
12 月 3 日(月)	1 月 9 日(水)	2 月 11 日(祝月)	3 月 11 日(月)
12 月 10 日(月)	1 月 21 日(月)	2 月 18 日(月)	3 月 18 日(月)
12 月 17 日(月)	1 月 28 日(月)	2 月 25 日(月)	
12 月 24 日(祝月)			
12 月 29 日(土)			

※メインレースは第 11 レースを予定。  
 ※対象日は変更になる場合がございます。  
 ※発走時刻の詳細等は、ばんえい十勝ホームページにてご確認ください。

○ **平成 30 年度 第 2 回調教師免許試験 新規合格者発表！！**  
**～ばんえい競馬 現役最年長山本騎手 念願の調教師に合格～**

平成 30 年 11 月 16 日地方競馬全国協会の平成 30 年度第 2 回調教師免許試験の合格者が発表されました。ばんえい競馬現役最年長騎手の山本正彦騎手(61)金山明彦きゅう舎所属が合格しました。

山本騎手は、上川管内上富良野町出身で 1975 年に騎手デビュー。43 年間もの永い騎手生活にピリオドを打つことになりました。大変お疲れ様でした。なお、山本騎手は、平成 30 年 11 月 26 日(月)をもって騎手を引退し、今後は調教師としてきゅう舎を 2019 年 4 月から開業予定です。今後益々のご活躍を期待いたします。

山本 正彦 (やまもと まさひこ) 騎手プロフィール※2018 年 11 月 19 日 (月) 終了時点	
生年月日	1957 年 10 月 8 日(61 歳)
出身地	北海道上富良野町
本年度成績	144 戦 9 勝
通算成績	23,782 戦 1,869 勝(うち重賞 30 勝)
初騎乗	1975 年 4 月 28 日(騎乗馬:カワシルバー号)
初勝利	1975 年 5 月 3 日(騎乗馬:アサヒシルバー号)
主な重賞優勝	1977 年 オオマサ号                      ばんえい優駿牝馬(初重賞優勝) 1980 年 カイリキ号                      帯広記念 1982 年 カイリキ号                      帯広記念

1986年	ヒカルテンリュウ号	ばんえい文月賞
1986年	ロイヤルキング号	帯広記念
1989年	マルゼンバージ号	ばんえい優駿
1996年	アキバオーショウ号	旭川記念
1997年	アキバオーショウ号	旭王冠賞
1998年	アキバオーショウ号	旭王冠賞
2000年	スミヨシセンショー号	イレネー記念
2001年	ヒカルセンブー号	銀河賞

## レース情報

### ○ 重賞競走の結果

月日	重賞名	馬名	馬主	調教師
10月14日	第41回 ナナカマド賞	メモロボブサップ	竹澤 一彦	坂本 東一
10月28日	第39回 北見記念	コウシュハウンカイ	秋田 忍	松井 浩文
11月4日	第43回 ばんえい菊花賞	ミスタカシマ	永井 進	槻館 重人
11月11日	第43回 クインカップ	メチカラ	赤鷹 秀人	西邑 春夫
11月25日	第9回 ドリームエイジカップ	オレノココロ	大森 勝廣	槻館 重人
12月2日	第43回 ばんえいオークス	ミスタカシマ	永井 進	槻館 重人

**優勝おめでとうございます！！**

#### ◆ 第41回ナナカマド賞（2歳オープン）

10月14日(日)は重賞・ナナカマド賞（2歳オープン）が行われ、単勝2番人気のメモロボブサップが優勝。ナリタボブサップ産駒初の重賞制覇を果たし、世代の頂点に名乗りを上げました。

ここまで5戦4勝、2着1回の好成績を残しているギンノダイヤモンドが1番人気。同じく6戦4勝、2着1回のメモロボブサップが差のない2番人気で続き、オッズ上は一騎打ちの様相。以下はインビクタ、サクラユウシュンと経験豊富な馬が続き、単勝ひと桁台は4頭となりました。

馬場水分1.7%でスタート。各馬未知の重量ながら軽快に歩を進めます。先行したのはインビクタ。ギンノダイヤモンド、メモロボブサップがこれをマークし、サクラユウシュンも遅れまじと追走。人気どころが一団となって第2障害を迎えました。

ひと呼吸入れて、最初に仕掛けたのはインビクタ。それを見てギンノダイヤモンドも登坂を開始し、メモロボブサップ、サクラユウシュン、アオノブラックもこれに続きます。先頭クリアはギンノダイヤモンド。インビクタが2番手で下り、内枠の3頭が並んで突破します。

先行していた2頭が軽快に飛ばしますが、それを上回る脚いろで伸びてきたのはメモロボブサップ。グングンと前との差を詰め、残り20メートル標識を過ぎたあたりで先頭へ。そのまま半馬身ほどのリードを保って歩き切り、トップゴールを果たしました。先頭クリアから粘り切ったギンノダイヤモンドが2着。じわじわと脚を伸ばしたアオノブラックが3着で入線しました。

勝ったメモロボブサップは、もちろんこれが重賞初制覇。デビューから7戦連対パーフェクトで、世代のトップに躍り出る結果となりました。父ナリタボブサップは2歳時にホクレン賞で2着に食い込みながら、10歳時のドリームエイジカップでも2着と、息の長い活躍を見せました。そんな父と同様の活躍を、メモロボブサップにも期待したいと思います。

#### ◆ 第39回北見記念（3歳以上オープン）

10月28日(日)は重賞・北見記念（3歳以上オープン）が行われ、単勝2番人気のコウシュハウンカイが優勝。昨年に続く連覇を達成し、重賞10勝目を挙げました。

多少障害に不安を残すものの、ばんえい随一のパワーを誇るオレノココロが1番人気。続いたのは安定感のあるコウシュハウンカイで、差なくセンゴクエースが3番人気。以下はふた桁の単勝オッズとなり、三つどもえの戦前予想でスタートを迎えました。

馬場水分2.1%のなかコウシュハウンカイがペースを握り、道中はゆったりとしたペース。中間点過ぎにいったんコウシュハウンカイが他馬を突き放しますが、フジダイビクトリー、オレノココロが差を詰め、センゴクエースもこの一角で追走。ばらけた展開のまま第2障害を迎えました。

2番手のフジダイビクトリーに続き、オレノココロが障害下にたどり着いたところで、コウシュハウンカイが登坂を開始。それを見てフジダイビクトリーも仕掛けますが、コウシュハウンカイはひと腰で突破し、ゆうゆうと障害を下っていきました。2番手クリアはオレノココロで、差のない3番手にセンゴクエース。戦前の予想通り三つどもえの展開で、最後の平坦路に向かいました。

軽快に飛ばしたコウシュハウンカイでしたが、残り10メートル付近で脚いろが鈍りはじめ、オレノココロがグングンと差を詰めにかかります。センゴクエースもこれに食らいつく形で追走。一度止まれば逆転可能な範囲まで3頭の差が詰まります。しかし、後続2頭の追撃もここまで。障害でのリードが功を奏し、コウシュハウンカイが2秒1差で逃げ切り勝ちを収めました。オレノココロが2着で、さらに3秒6差の3着にはセンゴクエースが入りました。

しまいに差を詰められたものの、持ち前の安定感を発揮したコウシュハウンカイ。今シーズン重賞3勝目となり、さらなるパワーアップがうかがえます。もちろん持ち前のスピードも健在。今年の冬も重賞戦線を盛り上げてくれるに違いありません。

オレノココロは若干障害で手間取りましたが、ヒザを折ることなく突破し、しまいの脚につなげました。今回はコウシュハウンカイにうまく運ばれた印象でしたが、今後もパワー優先の馬場や展開になれば逆転も可能でしょう。

#### ◆ 第43回ばんえい菊花賞（3歳オープン）

11月4日(日)は重賞・ばんえい菊花賞（3歳オープン）が行われ、単勝1番人気ミスタカシマが優勝。2月の黒ユリ賞以来となる重賞3勝目を挙げました。

はまなす賞2着、前走のA2-1組戦も快勝し、4連続連対中の紅一点ミスタカシマが1番人気。ばんえい大賞典を制したアアモンドグンシンが続き、この2頭が人気の中心。やや離れた3番人気にコウシュハレガシーで、以下はふた桁台のオッズと、偏った戦前予想になりました。

馬場水分1.2%のなか、各馬が思い思いのペースで運び、道中はバラバラの展開。アアモンドグンシン、コウシュハレガシー、オレワチャンピオン、ミスタカシマといった実績馬が先団を形成します。なかでもアアモンドグンシンの行き脚は軽快で、中間点過ぎから加速すると

先頭で第2障害へ。以下はミスタカシマ、オレワチャンピオン、コウシュハレガシーの順で障害下にたどり着きました。

他の6頭が障害に到達しないうちにアアモンドグンシンが登坂を開始。これを見て先行各馬も仕掛けますが、なかでも抜群のかかりを見せたのがミスタカシマで、ひと腰で障害を突破します。アアモンドグンシンは天板付近で手間取り、その間にコウシュハレガシーがクリア。3番手で越えたのはキタノユウジロウで、以下オレワチャンピオン、ミノルシンザンと続き、苦戦を強いられたアアモンドグンシンは6番手から追撃態勢に入りました。

最後の平坦路で、目をみはるような末脚を繰り出したのは、そのアアモンドグンシン。前との差をグングンと詰めにかかり、先行した2頭を懸命に追いかけます。先行勢はコウシュハレガシーの脚いろが鈍り、残り5メートルでストップ。アアモンドグンシンがこれをかわして2番手に浮上しましたが、猛追もここまで。最後は一杯になりながらもミスタカシマが粘り通し、先頭で荷物を運び切りました。4秒3差でアアモンドグンシン。際どくなった3着争いはコウシュハレガシーに軍配が上がりました。

並み居る牡馬を撃破したミスタカシマ。古馬A2を勝った足跡からも、3歳世代ではやはり一枚上の力を有していました。母のアグリタカラは2007年のばんえいオクスで4着でしたが、今回のレースぶりからは、母以上の成績はもちろん、3歳女王の座も目前。そして、頂上決戦・ばんえいダービーを制しての二冠達成も、十分に期待できそうです。

障害で苦戦を強いられたアアモンドグンシンでしたが、あきらめずに追い込んできた内容は悪くなく、末脚の切れ味も抜群でした。ばんえい大賞典のときのように、スムーズに障害を上がれば違はず。ばんえいダービーでの巻き返しなるか注目です。

#### ◆ 第43回クインカップ（4歳牝馬オープン）

11月11日(日)は重賞・クインカップ（4歳牝馬オープン）が行われ、単勝4番人気のメヂカラが優勝。前哨戦の紅バラ賞を制した勢いそのままに、重賞初制覇を果たしました。

2走前の紅バラ賞こそ4着に敗れたものの、前走のB1-1組戦を制して軌道修正を果たしたフェアリースズが1番人気。ただ、ばんえいオクス2着、牡馬相手の柏林賞3着のシンエイボブ、オクス3着のキタノサカエヒメ、黒ユリ賞3着のメヂカラなど、地力のある馬がここへ向けて調子を上げており、上位は拮抗したオッズとなりました。馬場水分は1.9%でスタート。軽快に第1障害を突破したマツノビューティがペースを握り、フェアリースズ、キタノサカエヒメ、イズミクィーンなどが先団を形成。ただ、極端にペースが上がることはなく、各馬とも離れず追走して中間点を通過すると、そのままの隊列で第2障害下を迎えました。

最初に動いたのは、終始先行していたマツノビューティ。それとほぼ同時にフェアリースズ、キタノサカエヒメ、シンエイボブが仕掛けます。なかでも切れのある登坂を見せたのはマツノビューティとフェアリースズで、すんなりと障害を突破。並ぶようなかたちでシンエイボブとキタノサカエヒメが続き、やや遅れてメヂカラも追撃態勢に入りました。

障害後も着実に歩を進めていた先行勢でしたが、残り30メートル付近で脚いろが鈍りはじめます。そこへ勢いよく伸びてきたのがメヂカラで、あっという間に先頭へ。その後もしっかりと脚どりでゴールまで歩き切り、4秒9差をつけて初タイトルを手に入れました。多少苦しみながらも止まることなく歩き続けたキタノサカエヒメが2着。同タイムの争いとなった3着争いは、フェアリースズに軍配が上がりました。

目をみはるような末脚を発揮したメヂカラが、3度目の重賞挑戦で初の栄冠。先行勢が早めの競馬を展開し、それが有利に働いた面もありましたが、他馬を楽に突き放したレース内容は圧巻でした。牝馬同士なら年長馬が相手でも互角の印象で、展開や馬場次第でタイトルを積み重ねる可能性も十分です。

#### ◆ 第9回ドリームエイジカップ（4歳以上馬齢選抜）

11月25日(日)は重賞・ドリームエイジカップ（4歳以上馬齢選抜）が行われ、単勝2番人気のオレノココロが優勝。ばんえいナンバーワンの実力を見せつけ、重賞20勝目を挙げました。

実績上位のオレノココロとセンゴクエースが重量を積まれたため、オッズもばらつき加減。10頭中6頭が単勝ひと桁台で、同オッズで並んだ7番人気のミノルシャープとコウリキにしても12.6倍と、まれにみる混戦模様となりました。

馬場水分は1.8%でスタート。700キロ台後半の重量とあって、全馬がいつせいに飛び出すと、勢いよく第1障害を通過。オレノココロ、コウリキあたりがペースを握りましたが、他馬も遅れず追走し、若干速めの展開で第2障害を迎えました。

ひと呼吸置いて、オレノココロとマルミゴウカイが仕掛けると、シンザンボーイも登坂を開始。ミノルシャープ、コウリキと、他馬も堰を切ったように障害を登り始めます。なかでも切れのある登坂を見せたのはミノルシャープとシンザンボーイで、この2頭が並ぶようにして第2障害を突破。若干遅れてオレノココロが3番手でクリアしましたが、フジダイビクトリー、マツカゼウカイ、マルミゴウカイ、コウリキも遅れることなく障害を下り、どの馬にもチャンスがありそうな展開で最後の平坦路を迎えました。

障害後に勢いよく抜け出したミノルシャープが先頭。2番手でシンザンボーイが続き、両馬が懸命に押し切りを図ります。そこへ内から勢いよく伸びてきたのがオレノココロで、残り15メートルを切ったあたりで2番手に浮上。それでも先頭とは差がありましたが、残り10メートルを切ったところで、ミノルシャープがストップして勝負あり。オレノココロがその隙に敢然と抜け出し、重賞20勝目のゴールを果たしました。後続がドツと押し寄せ、3秒7の間に6頭がひしめく大混戦になった2着争いは、わずかにシンザンボーイに軍配。ミノルシャープはしまいに失速したものの、他馬の追撃をなんとか振り切り3着で入線しました。

近況は今ひとつの成績が続いていたオレノココロでしたが、ばんえい最強馬の意地を見せ、重賞タイトルを大台の“20”に乗せました。トップハンデに加え、スピード優先の700キロ台のレースとあってオッズも控え気味でしたが、障害をすんなり3番手で下りられれば、この馬の勝ちパターンでしょう。今後の重賞戦線は基礎重量が上がってパワー勝負となるだけに、これからがこの馬のシーズン。今冬の活躍も十分に期待できそうです。

#### ◆ 第43回ばんえいオークス（3歳牝馬オープン）

12月2日(日)は重賞・ばんえいオークス（3歳牝馬オープン）が行われ、単勝1番人気のミスタカシマが優勝。重賞3勝の実力を見せつけ、3歳女王の称号を手に入れました。

牡馬相手のばんえい菊花賞を制したミスタカシマが、圧倒的な1番人気。続く2番人気のアフロディーテが9.3倍、以下はふた桁台のオッズで、ミスタカシマの勝ちっぷりが焦点となりました。

馬場水分は1.0%でゲートオープン。各馬、第1障害を越えると、相手の出方をうかがいながらレースを進めます。軽快に飛ばしたのはサトクィーン。それを見ながらミスタカシマが追走し、その後は横一線で続かたちで第2障害を迎えました。

先行したサトクィーンが真っ先に障害に挑みますが、天板付近でヒザを折るなど苦戦。その一方、やや遅れて仕掛けたミスタカシマは抜群の登坂力を発揮。後続各馬が仕掛ける前に障害を下りていきました。

その後もミスタカシマは他馬を問題にしないレースを展開。ゴール前で若干脚いろが鈍ったものの、止まることなくゴール線を突破し、3歳牝馬の頂点に君臨しました。

別のレースとなってしまった感のある2着争いは、じっくりためて2番手で下りたアフロディーテがリード。3番手でクリアしたカネササクラが懸命に食い下がりますが、最低人気のクイ

ードリーマーが鋭い末脚を繰り出してこれを交わし、さらにゴール前ではアフロディーテに迫る勢い。しかし、結局はアフロディーテが粘り切って2着を確保。1秒2差の3着にはクイードリーマーが入りました。

ここでは力が違った印象のミスタカシマ。若干力の要る馬場を強気に先行し、出走馬の大半がまだ障害下で脚を止めている間に最後の平坦路を迎えるという、圧倒的なレースを演じました。最終的にアフロディーテにつけた着差は14秒7。同世代牝馬での力の差は歴然で、牡馬相手のばんえいダービーでどんなレースを見せるのか、期待は高まるばかりです。

2着のアフロディーテは、障害でも抜群のかかりを見せ、しまいの粘りも上々でした。ただ、同じくミスタカシマの2着だった黒ユリ賞と同様、相手が強すぎた印象です。現状で逆転を望むのは酷と言えますが、まだ3歳だけに今後の成長を待ちたいところ。最低人気のクイードリーマーが3着。近況はC級でも苦戦を強いられていましたが、馬場や重量を考えると、パワー勝負になって持ち味が生きそうな印象を受けました。今後も条件がそろえば、好走が期待できそうです。

※レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。